



病児保育室 あんず通信 Vol.52 2020年3月

～あんず通信では、感染症の流行状況を毎月お知らせしています～

【感染症だより】

～溶連菌感染症・インフルエンザについて～

12月から連続して溶連菌感染症が首位となっています。一方、インフルエンザは例年よりもだいぶ少ない印象です。3月に入ってから、インフルエンザB型がやや増えてきておりますので、引き続き手洗いうがいなど予防に努めましょう。

～新型コロナウイルスについて～

1月31日にWHOが緊急事態宣言をした新型コロナウイルスですが、世界での症例数が増えるにつれてその病状も解って来ました。国内での感染症発生動向調査のPCR確定例112例の報告によると、男女比は、1.6:1で男性に多く、年齢の中央値は66.5歳、60歳以上が約6割を占めています。症状は、発熱が72%、咳62%、肺炎65%、咽頭痛35%、全身倦怠感(だるさ)33%、嘔気・嘔吐8%、関節・筋肉痛7%、急性呼吸窮迫症候群(ARDS)7%、結膜充血0%でした。

3月2日から政府要請により学校などが休校になっていますが、こうする事でどんなメリットがあるのでしょうか?過去の実績をみますと、第1次大戦中の1918～1919年にアメリカから全世界に広まったスペイン風邪は、推定感染者5億人、死者5千万～1億人とされています。米国の記録によると、セントルイス市長は感染率が2.2%(死者が1名出た)の段階で非常事態宣言し、集会・イベント中止、学校等人的の集まる場所を閉鎖し、5週間継続しました。それに対比してフィラデルフィア市では感染率が10%になってから同様の封鎖措置を取りました。フィラデルフィアでの死者は、10万あたり250人だったのに対し、セントルイスは10万人あたり30人に抑えることが出来ました。

文責: 清水マリ子

表: 2月しみず小児科・内科クリニックで診断された流行性の感染症

	感染症	患者数
1	溶連菌	201
2	胃腸炎(106)	73
3	インフルエンザA	15
4	アデノウイルス咽頭炎	5
5	インフルエンザB	3
5	水痘	3
7	RSウイルス	2

★あんずからのお知らせ★

H30年度から、**空き状況**をWebで確認出来るようになっていきます。スマホ・携帯電話でも同様に**しみず小児科・内科クリニック**の予約ページかホームページから確認出来ます。表示が空きになっていても、病気の種類や時間差で入れない場合がありますので、ご予約は必ずお電話でお願い致します。

★あんずからのお願い★

キャンセルをされる場合は、**留守電で構いませんので当日8:30までに必ずお電話**をお願い致します。利用されたい方が1人でも多く入れるようご協力をお願い致します。



しみず小児科・内科クリニック